



秋田鍛鉄器「息吹」 w450×d450×h500 mm 第25回河北工芸展 仙台市長賞



鎌田 俊弘 Kamada Toshihiro

創作活動を続けて57年。技術は日々の鍛錬により向上するが、加えて時代の変化に即応したデザイン（表現力）が重要視されると感じる。取り扱っている素材で良いのか？何故この素材でなければいけないのか？…毎日が自問自答で、新たな技法の研究開発に挑戦している。

工芸とは、「素材」・「技術」・「表現」の三要素……あとは「愛」。目に見えない世界を表現出来たら最高である。

1949年秋田市に生まれる。1975年より秋田市立美術工芸専門学校（現秋田公立美術大学附属高等学院）を退任するまで46年間勤務。現在に至る。